

トップNEWS!!

さくら電車

乗って歩いてまちなか散策～さくらの巻～

先日開催されたさくら祭り。準備スタッフまたは当日スタッフとして参加された皆さん、ご苦労さまでした。

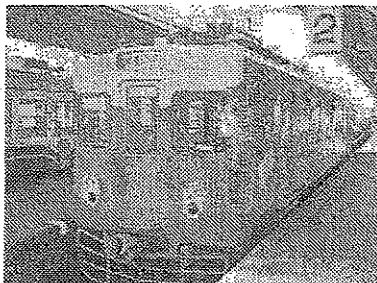
当日4月7日に運転された田原町一ベル前間無料のさくら電車、青年会議所の方よりお聞きしたところでは、ベル前のパークアンドライドが大盛況で、全線で、通常の日曜日の2.5倍程度の乗降客数があった模様です(福鉄推計)。

これにより、普段は電車には見向きもしない人でも、何らかの仕組みときっかけがあれば電車に乗るということがわかりました。この収穫は非常に大きいと思います。もつとも、通常はタダというわけにはいきませんが、わがROBAの会が県や県下の市町村に提出した公共交通活性化アイデア集の中にも、この“何らかの仕組みときっかけ”になるものがたくさんあるのかも知れません。

青年会議所の方の話では、電車に初めて乗り、福井ウォークを満喫した子どもが、「福井はこんなところだったんだね」と言ったそうです。普段、親が徹底的に車で送り迎えして、子供たちが感性を磨くきっかけの一つを奪ってしまっているのではないか心配です。

今年のさくら祭り、桜はもう完全に散っていましたが、それでも結構な人出がありました。そしてさくら電車という、ROBA会員かつ青年会議所メンバーの仕掛け人、佐藤さんの想いの一杯詰まったプロジェクトは福井の公共交通の再生に大きなチャンスを与えることになったのではないでしょうか。

(文:清水省吾)



さくら電車

2002年活動報告

- 2月22日 2月例会
- 3月4日 さくら電車イベント部会
- 3月8日 土木学会文化講座『先進的なまちづくりと歴史文化を活かしたまちづくり』：川上先生講演
- 3月12日 3月準備会
- 3月16日 日本科学者会議シンポジウム
『21世紀の地域構造と公共交通のありかた』
：川上先生、川本先生、内田会長、美濃部課長 パネリストとして出演
- 3月17日 県民社会貢献活動交流会～NPO・ボランティア交流フォーラム～
公共交通利用拡大フォーラム「公共交通でにぎやし～街に」
：川上先生講演
- 3月19日 トランジットモール社会実験協議会（最終）
- 3月15日～4月14日 ふくい春まつりラッピング電車登場
- 3月22日 3月例会
- 4月7日 ふくい春まつり「さくら電車」関連事業
“まちなかスタンプラリー”実施
- 4月16日 4月作業部会（4月より準備会を改称）

今後の予定【ROBAの会】

- 4月28日(日) ROBAの会総会
国立高島技術大学助教授 武山良三先生講演
「まちを育生する公共交通
・・・先進事例に学ぶ活性化策」
- 5月14日(火) 5月作業部会
- 5月24日(金) 5月例会
- 5月26日(日) アースデーinふくい

* 詳細についてはHP、
事務局にてご確認ください。

ふくい路面電車とまちづくりの会

発行責任者：内田桂樹
編集責任者：林 順翁
副編集長＆デザイン：三寺 潤
副編集長：清水省吾

ROBAの会の活動

ROBA状況報告

…現在進行計画中のイベントや分科会などを報告するページです。
こんなことをやってみたいという方はご意見ください！

ROBA交通ネットグループ

各地での超低床LRV導入の動向

このところ、全国各地での超低床LRVの導入が目白押しです。まずは鹿児島。鹿児島市交通局がアルナ工機のリトルダンサーA3型という3連接車体の超低床LRVを導入したのを手始めに、高知で土佐電鉄が同じくアルナ工機のリトルダンサーL型という3連接車体の大型超低床LRVを、そして松山で伊予鉄道が同じくアルナ工機製リトルダンサーS型という単行の超低床LRV、また、函館で函館市交通局が既存の車両の改造による部分低床車(改造はアルナ工機)を導入しました。今後、岡山、高岡が超低床LRVの新規導入を行い、熊本、広島が超低床LRVの増備を行う予定です。

実は日本の路面電車のトップメーカー、アルナ工機は昨年、車両製造からの撤退を表明していました。しかし、発表以降、全国の路面電車事業者や路面電車支援団体、LRT推進団体から再考を求める要請が相次ぎ、親会社の阪急電鉄もようやく市場を取り巻く状況の変化とアルナ工機が置かれている立場の重要さに気づき、撤退を取りやめ、この4月、分社化によるアルナ車両㈱を新たに立ち上げるに至りました。

とは言え、路面電車市場はメーカーにとって厳しい市場であることには変わりはないようです。対抗メーカーであった新潟鐵工は昨年倒産し、現在更生計画を推進しているものの、日本で最初に外国メーカーと結んでLRVを製造したかつての勢いは失われ、岡山のLRV導入計画も2両目以降の計画が白紙に戻されています。また、鉄道車両製造の大手、日本車両は岐阜の名鉄美濃町線に部分低床車を3両送り出した他は供給実績がありません。

実は京福問題でLRV導入の相談を福井市が持ちかけたところ、日本車両は福井市を相手にもせず、一方では、アルナ工機は丁寧に対応しました。この姿勢の違いが今のリトルダンサーシリーズの供給の伸びにつながっているのではないかと思われます。

福井の街を走る超低床LRV、早く見たいものですね。もっとも、その前提が京福線の存続であることには言うまでもありませんが。



鹿児島市交通局のリトルダンサーA3型



土佐電鉄のリトルダンサーL型

(文:清水省吾)

3月・月例会報告

日 時:3月22日(金)19:00~

場 所:県民活動センター

出席者:岸本、清水、内田、寺内、岩田、三寺、碓田、林(照翁)、
畠、玉井、佐々木、千葉、美濃部、橋本、佐藤、川口(記者)

1. シンポジウムの報告・日本科学者会議

川上先生・川本先生・浅沼先生・美濃部課長・内田会長がシンポジスト。参加者は全員公共交通の推進者で、反対意見はでなかった。

議論よりは、意見の交換が多かった。

NPO交流会

日本NPOセンターの田嶋さんの話:ボランティア→団体→NPOと進んでいくうち、passion(思い)→mission(使命)へとなっていく組織が、団体からNPOへと進むかどうかはその組織によるが、後戻りはできない

まちづくり交流会:まちなかNPOの大森さん・永井さんが中心となって進めた。まちなかNPOが駅前をどのようにするかのアイデアを出し、他の団体がそれに対して意見を言っていく進みかたとなったが、ROBAとまちなかNPOとの中途半端な意見交換に終わった

・(高岡)公共交通利用拡大フォーラム ⇒ NPO交流会と同じ日に開かれた。日本科学者会議と同じく、公共交通の利用促進について

2. イベント紹介報告

さくら電車関連のイベントについて「進行状況報告&後の作業について」

・電車に付けるヘッドマーク作成(村田&佐藤)

・アンケートは4月7日のみで○電車に乗っている人&乗った人、○子供映画会に来た人、の2種類

・映画会に来たお客様にさくら電車をPR

・パンフレット印刷は2000枚5万円で(→後に3000枚に増刷)

・景品のチョコQは50個をまちづくり福井(株)から無料で

・ロバティントはつくも橋南詰め、メインステージ横

・名札や腕章は、付けると市の関係者など他の関係者と間違われる可能性もあり、問題が多いのでつけない

・人員シフト計画は野田さんが作成

・マラソン会場について、児童館、図書館にも置く。田原町、ペル前など有人ポイントは多めに

・スタンプラリーの名称について、「まちなか散策スタンプラリー」に決定。他にも、商工会議所青年部が「Saku-landウォークラリー」、隣地区も別のウォークラリーを企画

3. トランジットモール社会実験協議会最終報告

・協議会で以上の3案が出されたが、テクニカルな問題はプロに任すべきで、使い方や、こういう空間であって欲しいという利用者の意見を出していべき。

・ダイヤが現状通りでよいのならばB案、C案もあるが、ダイヤ増発を考えるとA案が良い

その他

・まちなかNPOや福井市との対話の場を設けたい。ふれあいトークのようなもの。

発行責任者:内田桂司

編集責任者:林(照翁)

副編集長&デザイナー:三吉 達

副編集長:清水省吾

ROBAちょっとブレイク

会員のひろば

…毎月、会員の方がたをちょっとずつ紹介していきたいと思っております。

ROBAの会・副会長…ROBAの会のオアシス!

畠 みゆき (はた みゆき☆1971年)

わたしが育ったところは越前海岸にほど近い所で、大自然相手に毎日遊び三昧、広いひろい自然に向ってゴルフの打ちっ放しをしたり、どろんこになって野生化したり、こんな環境で育ったので、電車に乗ったり近くで見られる環境ではありませんでした。でも、母が出かけるのが好きな人で、買い物ついでに京福電車やJRが通るところへよく連れて行ってくれて、電車が通ると「ばいばい」と叫びながら手を振ったものです。実はROBAの会に入るまでたまに手を振っていたんですよ。これからも今と変わらず「まちづくり」を楽しくやっていきたいですね。まちに住むみんなが楽しくなるような“まち”になるように…。

幹 事 …YOSAKOIもがんばってます！

岩田 友一朗 (いわた ゆういちろう☆1972年生)

こんにちは。岩田友一朗です。私は学生時代を都会で過ごし、社会人となって福井に戻ってきた一人です。車を運転するようになり、公共交通の重要性を改めて感じています。福井では、車がないとどこへもいけないのは否定のできない事実です。

しかし、そこに文句を言っているだけでは何も解決しません。「車の公共交通のそれぞれ便利な点を有効に生かしたシステムをこの福井で提言し、住みよい福井へ導く。」そういう可能性をROBAの会に感じ、興味を持ちました。多忙のため、充分な活動ができてませんが、先に述べた自分の思いを大切に頑張っていきたいと思います。



ROBAほっと一息 詩のコーナー

まなざし

千葉 晃弘

かつて この場所で
震災に燃えあがった 電車が
それから半世紀 さま変わった街や郊外を
走り 働き通してきた
福井駅前 だるまや前通り
車を止めて の ドニッヂヨ祭
トランジットモールの社会実験 に
この通りを走る小型電車に
思い思いの 小さな赤い手型を押す
架線の電源を切る 永年の工夫が
一点を見つめている

(しばあきひろ・「青魚」同人)

▶▶ 書籍紹介

「都市づくり・弁護士奮闘記」 坂和 章平著 都市文化社 2,060円

私がこの本を買ったきっかけは、大阪モノレール訴訟（豊中市内の住民が、モノレールの都市計画を無効として国や府を訴えていた裁判で、被告建設大臣代理人として名を連ねていた時の原告側弁護士だったことである。

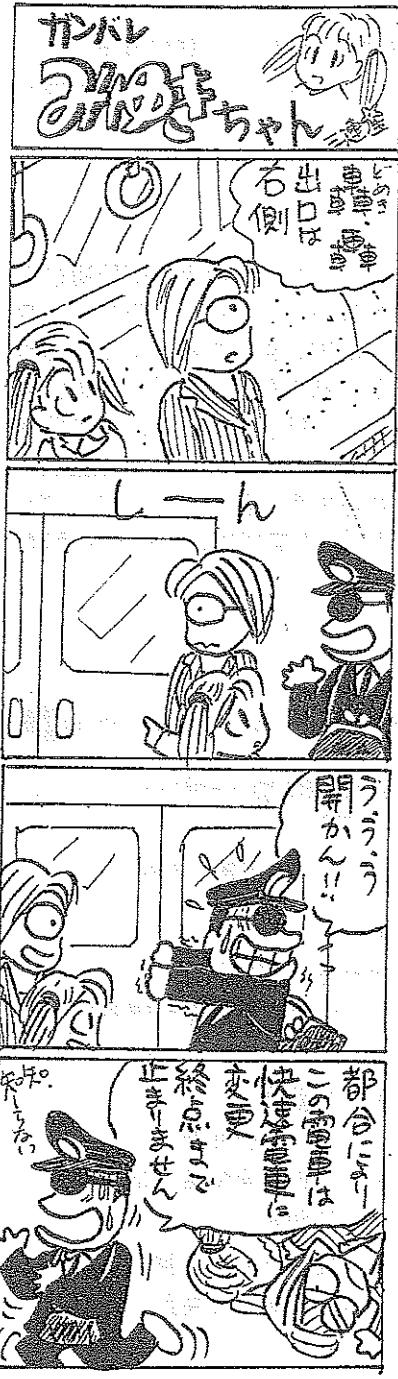
弁護士という職業でありながら、まちづくりへの強い思いを持ち、良いまちを作る秘訣はまちをどうしたいかという住民意思であり、法律は道具として使うものであるという一貫した考え方である。平成元年の出版でありながら、まちづくりへの市民参加が一気に進みつつある現在においても、その思想は色あせることはない。日当たりを阻害する高い建物を禁止するための道具があることは、多くの人は高い建物の建築確認が終わって手遅れになってから知ることが多い。

現在駅西中央地区の再開発が大きな政治課題になりつつあるが、再開発で何だ！と考えたときの1つの見方を示唆してくれる本もある。

(文：美濃部 雄人)

まちづくり協議会とまちづくりの会

主催者：発行責任者 内田桂龍
編集責任者 林 賴翁
副編集長&デザイン 三寺 清
副編集長・清水智香



(作: 漆崎耕次)

ROBA NEWS 編集局より

編集後記 …編集委員より一言！

林（編集局長） 「おさかな天国ヒット中。次は電車天国だ～！」

三寺（副編集局長） 「次号より協力助っ人登場！川口君共に頑張ろうね♪」

清水（副編集局長） 「ウーン、毎回収穫のトップニュース。」

内田（発行責任者） 「毎回編集会議終了は真夜中 今回も」

このROBA NEWSにどんどん参加してみませんか？

情報・写真等、募集しております。

●記事についてのお問い合わせはROBAの会事務局まで！

ROBAの会より

お知らせ

…ROBAの会からのお知らせ事項です。

会員・美濃部氏よりプロジェクター寄贈！

4月1日付で国土交通省に異動になりました美濃部会員から、プロジェクターの寄贈がありました。

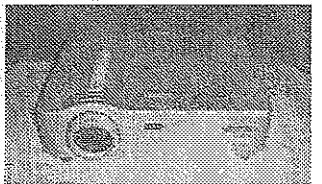
美濃部さんは、福井県におけるROBAの会の役割とその活動の重大さを認識され、今後の一層の会の発展と公共交通の活性化を願い、転勤の際の賃別を購入の原資に充てられました。

今後の活動に活かしていくこうと思います。

●寄贈品：エプソン製

液晶プロジェクター（市価398,000円）

（文：内田桂綱）



お気に入りSHOP紹介☆第一段

『Sympa』（福井鉄道：田原町駅）

Sympaには毎日の生活を楽しくしてくれる雑貨がいっぱい。雑貨だけでなく、シャツ、ジャケットなど、女の子の心をくすぐってくれるような衣類も扱っています。ワッフル素材のものも多数そろっていて、見るだけで楽しくなれてしまう、そんな雑貨屋さんです。一度お店に足を運んでみてください。

（文：三寺潤）



4コマ漫画

GANBARE! MUNOKICHIAN

「GANBARE! MUNOKICHIAN」
毎号掲載予定です。

Sympa（サンパ） 福井市田原1-8-2
営業時間：AM10:00～PM8:00 | 定休日：無休
TEL：0776-29-7250 | FAX：0776-29-2533

この会へのアクセス方法

【会の入会方法について】

下記の事項をFAXまたは郵送にて事務局宛てにお送りください。E-mailにても受け付けております。（ホームページからの入会も可能です！）

入会後は、機関紙等の送付を郵送＆メールにて行っていきたいと考えております。

会費の納入につきましては、現在のところ直接・準備会・月例会等で受け付けております。

※郵便振替口座、近日開設予定！

- 名前
- 郵便番号・住所
- メール送信可・不可
- 電話番号
- FAX番号
- 携帯番号
- メールアドレス

ふくい路面電車とまちづくりの会

〒918-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL&FAX:0776(25)7968

e-mail:roba@mbh.nifty.com

URL:homepage2.nifty.com/tram-fukui



発行責任者：内田桂綱

編集責任者：林 聰美

副編集長＆デザイナー：三寺 潤

副編集長：遠山直吉